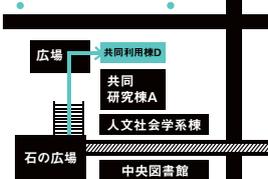




名刺一枚、誰にでも会える。

編集会議 毎週月曜 18:30~共同利用棟 D にて
 4月9日・16日・23日 一の矢・平砂共用棟・中央図書館前に 18:15 集合
 会議後はご飯に行きます！
 4月30日(月・祝) 筑波山(雨天時は大洗)へ小旅行

筑波大学中央(バス停) 大学公園(バス停)



TEL:029-853-6699
 MAIL:shinbun@un.tsukuba.ac.jp
 Twitter:@ut_shimbun
 Facebook:筑波大学新聞



編集長 秋田 耕平

大学の「いま」を伝える

「大学新聞を作りたい」と感じ、私は筑波大学新聞の記者になりました。この2年間、さまざまな取材をしました。学内はもちろん、北海道や入試改革の話や、国際オリンピック委員会のトランプ・バッハ会長に取材するなど、日本各地を飛び回りました。時には海外まで取材することもあります。そこには、ニュースがある限り、います。社会学類(年

「記事を書くだけではありませぬ。写真を撮ったり、紙面構成を考へたり、イラストを描いたり……あなたも活躍できます。大学は社会の縮図です。この広い筑波大には、さまざまな問題が横たわり、多様な人々がいて、そしてあなたの興味を引くニュースが待っています。大学が待っています。私を記者として、読者に伝えたいです。」

「記事を書くのは、新聞をつくる上での喜びです。記事を読んだ方と読者に言われることです。多くの人に新聞を読んでもらうことが、大学新聞をつくる一番のやりがいです。「取材をたてたことな」記事で書けるかな。心配はいりません。ほとんどの部員が大学で初めて新聞をつくり始めました。先輩や欧州の特派員だった新聞記者の先生が丁寧に教えています。また、新聞へは記事を書くことだけではありませぬ。写真を撮ったり、紙面構成を考へたり、イラストを描いたり……あなたも活躍できます。大学は社会の縮図です。この広い筑波大には、さまざまな問題が横たわり、多様な人々がいて、そしてあなたの興味を引くニュースが待っています。大学が待っています。私を記者として、読者に伝えたいです。」

「でも取材に出かけます。」

男子バスケットボール部・蹴球部

インカレ制覇へ期待の新人

角田涼太郎 (サッカー)



写真8本人提供

「全ての能力を底上げしたい」

昨年度の天皇杯で3つのJリーグを破り、ジャイアントキング・流風を巻き起こしたものの、インカレも連覇は逃した筑波大サッカー部。今年も体育会の各部に新進鋭のルーキーたちが加わる。全日本大学選手権(インカレ)で王者奪還を狙う男子バスケットボール部・蹴球部の入りの有望株、高校までの経験や筑波大での抱負を聞いた。

(益本健太、飯田健介)

角田は、選手権優勝の経験から、体格を鍛えたいという思いが強い。インカレでは、守備の要が求められる。相手の攻撃を封じるセンターバックや中衛の役割が大きい。角田は、相手の選手との駆け引きなど頭脳的なプレーも光る。また、利足の左足から繰り出される正確なキックも持ち味だ。昨年9月は世代別日本代表にも選出されており、将来の日本を背負う存在だ。

角田は、インカレで守備の要として活躍したい。インカレでは、守備の要として活躍したい。インカレでは、守備の要として活躍したい。

井上宗一郎 (バスケ)



写真8福岡大学付属大濠高校新聞部提供

「ゴール下で貢献する自信がある」

身長2.01メートル、壁打ちが得意な井上は、ゴール下での活躍を期待されている。インカレでは、ゴール下での活躍を期待されている。インカレでは、ゴール下での活躍を期待されている。

井上は、インカレでゴール下での活躍を期待されている。インカレでは、ゴール下での活躍を期待されている。インカレでは、ゴール下での活躍を期待されている。

山岸自己新で3位 インカレ



山野のコースを力走する山岸 (3月11日、高畑運動広場で)

オリエンテーリング部、高畑運動広場、栃木県日光市で秋田県立社会福祉専門学校、写真も、日本学生選手権のミドル・ディスタンス部門とトリプル部門が3月10、11日に行われ、山岸は、自己新で3位となった。

山岸は、自己新で3位となった。山岸は、自己新で3位となった。山岸は、自己新で3位となった。

子どもから大人まで参加 つくば体操フェスティバル



ラートを用いた演目を披露する体操部 (1月27日、つくばカピオで)

つくばカピオ(つくば市)で飯田健介(つくば市)が主催するつくば体操フェスティバルが、筑波大体操部や、地域の子どもから大人まで参加した。つくばカピオで、つくば体操フェスティバルが開催された。

山岸は、自己新で3位となった。山岸は、自己新で3位となった。山岸は、自己新で3位となった。

つくば体操フェスティバルは、子どもから大人まで参加した。つくば体操フェスティバルは、子どもから大人まで参加した。



他国の強豪選手と競り合う梶原(左)(3月2日(現地時間)、世界選手権で) = 本人提供

梶原 アジア2連覇 世界選手権は8位

全種目1位で完勝

自転車
トラックレースのアジア選手権が3月16日、20日にマレーシア・クアラルンプールで開かれ、女子オムニアムに梶原(体専3年)が出場し、全種目1位で連覇を果たした。また、世界選手権が自国で3月4日にオランダ・アペルドルンで行われ、梶原はオムニアムを8位で終えた。

■アジア選手権
オムニアムはスクラッチ、テンポイント、エリミネーション、ポイントレースの4種目を争った。梶原は全種目1位で完勝し、2年連続でアジア選手権の覇者となった。

3種目のスクラッチ、2種目のポイントレースで、梶原は全種目1位で完勝し、2年連続でアジア選手権の覇者となった。また、世界選手権が自国で3月4日にオランダ・アペルドルンで行われ、梶原はオムニアムを8位で終えた。

■アジア選手権
オムニアムはスクラッチ、テンポイント、エリミネーション、ポイントレースの4種目を争った。梶原は全種目1位で完勝し、2年連続でアジア選手権の覇者となった。

日本短距離界の新星

高校では、リレーにも注力していた。リレーは陸上競技ではほぼ唯一の団体戦。注目度も高く、短距離走者だった。自ら環境を整えて練習していた。当初は声がかたかったが、先輩のメニューに合わせた練習が、徐々に自分自身で練習できるようになった。今では新たな練習を一定期間取り入れ、

山下潤(体専3年)の活躍について、先輩から「練習メニューを決める方針に声がかたかった。高校までの先輩に比べ、練習環境を整えて練習していた。当初は声がかたかったが、先輩のメニューに合わせた練習が、徐々に自分自身で練習できるようになった。今では新たな練習を一定期間取り入れ、

グランドスラム 田川と能智が優勝



果敢に攻め込む田川(左)(2月23日(現地時間)、男子66kg級決勝で)

格上破る快進撃

柔道
■ジュネセルドルフ大会
初日の男子66kg級で、田川は格上を破る快進撃を見せた。1、2回戦を一本勝ちで進み、準決勝で世界ランキング1位のフリッカー(イスラエル)と対戦。同200kgの体用にとって厳しい戦いになると思われたが、小技で技ありを奪い優勝した。勢いに乗って臨んだ準決勝では、同1位のキミロフ(ロシア)を破る快進撃を見せた。2日目の男子81kg級では、能智が3回戦で準決勝に進出。決勝では、津金を破る快進撃を見せた。2日目の男子63kg級では、能智が3回戦で準決勝に進出。決勝では、津金を破る快進撃を見せた。

石川と中江が準優勝

関東選手権
江美裕(同3年)が準優勝した。また、桑田晴乃(同2年)が6位となり、以上3名が日本選手権の出場権を得た。石川は、地崎亮祐(千葉県)との準決勝では残り1分22秒で裏投げによる一本勝ちを収めた。決勝は加藤(同)と対戦。開始1分4秒で指導を1つ与えられた後、釣り手を弄られる苦しい展開。その後、残り1分5秒に出場して、イロ五輪に出場している。五輪選手と父と兄を以て争うユースオリピックアジア予選の活躍を前に期待される。ライオンズ(同)との準決勝では残り1分22秒で裏投げによる一本勝ちを収めた。決勝は加藤(同)と対戦。開始1分4秒で指導を1つ与えられた後、釣り手を弄られる苦しい展開。その後、残り1分5秒に出場して、イロ五輪に出場している。

訂正とおわび
340号9面の日本ラレー選手権の記事で、「高橋晴彦(選手と記述)が、正しくは「高橋晴彦(選手)と記述」だった。訂正いたします。また、同記事で、「平成27年度」の誤記でしたが、正しくは「平成28年度」と記述いたしました。お詫言わせて訂正いたします。

顔

昨年6月、日本学生個人選手権の200kg級で優勝した。また、同年8月に台湾で行われたユニバーシアードの4×100mリレーで日本代表の2連覇に貢献。2020年東京五輪での活躍が期待される。ライオンズ(同)との準決勝では残り1分22秒で裏投げによる一本勝ちを収めた。決勝は加藤(同)と対戦。開始1分4秒で指導を1つ与えられた後、釣り手を弄られる苦しい展開。その後、残り1分5秒に出場して、イロ五輪に出場している。



ユニバーシアード4×100mリレー優勝

高校では、リレーにも注力していた。リレーは陸上競技ではほぼ唯一の団体戦。注目度も高く、短距離走者だった。自ら環境を整えて練習していた。当初は声がかたかったが、先輩のメニューに合わせた練習が、徐々に自分自身で練習できるようになった。今では新たな練習を一定期間取り入れ、

結2号 6月任務終了へ

筑波大学が中心となった「結プロジェクト」チーム製作の人工衛星「ITF-2(結2号)」が、6月頃に任務終了を予定している。結2号は昨年1月に国際宇宙ステーション(ISS)の日本実験棟「きぼう」から放出され、内蔵の小型アンテナと新型マイクロコンピュータ(マイコン)で実験を行ってきた。小型人工衛星の開発や運用が目的のプロジェクトの現状を取材した。(佐藤巧基)



6月に任務終了予定の「結2号」=結プロジェクト提供

結2号は、これら内蔵機器を使い、衛星内部の温度や簡単なメッセージなどをマイクロ送信機で無線で地球に送信している。電波はアマチュア無線家が受信し、専用のサイトに内容を報告している。チームによると、小型アンテナは縦3センチ、横6センチの板状の電子回路。結2号は従来の棒状のアンテナとは搭載しており、同チームは2つのアンテナの動作の比較を行ってきた。だが今回、小型アンテナは

電子回路の板が地上に向かないと電波が届かないと判明。同チームでは現在、改良案を模索している。

一方、新型マイコンは、地上での放射線実験では従来のマイコンに比べ放射線の影響を受けにくいという。正確な動作が期待された。だが今回、地上に比べ宇宙空間では放射線の影響を受けやすいため、チームは今後の動作を確認するまで公表する予定。また、マイコンの実験データを保存するメモリが初期化され、データが消える原因不明の事態も発生している。

現在まで、結2号から送信された電波の受信報告は20カ国から1500件以上。チーム代表の永田晃大(さん、備前市)は

「結2号を媒体として人々のつながりが増えた。これより目的のひとことだとうれしい」と話した。

永田さんは、宇宙空間で動かしていた。実際の運用で多くの発見があり、今後にはさらに話している。現在はマイコンを開発しており、2019年度の完成を目指す。

放射線の影響を受けやすい電子回路に当たるため、劣化が激しくなるため故障しやすい。宇宙空間では宇宙線と呼ばれる強い放射線が飛び回っており、ISSにいる宇宙飛行士が1日に被曝する放射線量は、地上での約半分程度に相当する。地球ではたいてい機械や人間の健康にはほとんど影響はないと話している。

平砂浴場で「フルーツ銭湯」

クラウドファンディングで資金集め



浴槽に浮かべられたゆず(2月20日、平砂共用棟で)

利用減少で赤字が続く筑波大学平砂浴場(平砂共用棟)をどうにかしようと、浴槽に果物を浮かべた「フルーツ銭湯」が3月19日から1日間、同浴場で開催された。芸術専門学群芸術専攻の授業「アート・デザイン・ロケーション」の学生12人が作る「Tsubuyu」大学銭湯わかしなプロジェクトの主催。3日間は日替わりでゆず、りんご、みかんが浴槽に浮かべられ、訪れた計308人は果物の香りを楽しんでいた。資金はネット上で募ったクラウドファンディングで集められた。

同プロジェクトでは同浴場、これに運営業者も学生場の改善方法などを話し合っ、生活課も協力。この結果

浴場、年乳やアイスクリム自販機を設置したほか、入り口付近に木製ベンチも設けた。また券機をシャワーやタオルの販売も始めた。フルーツ銭湯を振り返り同プロジェクト代表の松本穂さん(芸術前期2年)は「浴場の認知度向上につながったと思う。今後さまざまな方法で取り組んでいきたい」と話した。初日に訪れた学生は、普段浴場に訪れないが、フルーツ銭湯が珍しいと来客。ゆずの良い香りでリラックスしたいと話している。



異文化の中で発見の連続

諸国の留学プログラムには、さまざまな選抜があった。その中で、今までは「ポコル」(インドネシア)も、自分自身が「ポコル」(インドネシア)の文化を学んでいくことが始まった。

ポコルは、インドネシアの農村部。自分自身が「ポコル」(インドネシア)の文化を学んでいくことが始まった。

「ポコル」(インドネシア)の文化を学んでいくことが始まった。

ポコルは、インドネシアの農村部。自分自身が「ポコル」(インドネシア)の文化を学んでいくことが始まった。



現在、大学では、世界多国籍の留学生と、毎日生活している。友達に囲まれて楽しんでいる。毎日を過ごすのが好きだ。

私が参加したAAMSプログラム(東海アジア)

この大学では、現在、世界多国籍の留学生と、毎日生活している。友達に囲まれて楽しんでいる。毎日を過ごすのが好きだ。

私が参加したAAMSプログラム(東海アジア)

台湾の学生に弓道を指導

日台合わせて約60人が参加

台湾の学生が日本の弓道、また岡山商科大学、岡山市の作法を学ぶ。日本弓道技術交流会が2月27日、3月2日、筑波大学の弓道部で、6日間の弓道講習会を開催した。参加者は約60人。台湾の学生は初めて、筑波大学の弓道部を訪れた。この講習会では、台湾の学生に日本の弓道技術を指導した。参加者は約60人。台湾の学生は初めて、筑波大学の弓道部を訪れた。この講習会では、台湾の学生に日本の弓道技術を指導した。

台湾の学生が日本の弓道、また岡山商科大学、岡山市の作法を学ぶ。日本弓道技術交流会が2月27日、3月2日、筑波大学の弓道部で、6日間の弓道講習会を開催した。参加者は約60人。台湾の学生は初めて、筑波大学の弓道部を訪れた。この講習会では、台湾の学生に日本の弓道技術を指導した。

台湾では約10年前に弓道部が設立された。台湾の学生は非常に熱心に練習している。この講習会では、台湾の学生に日本の弓道技術を指導した。

仏・独・西語を学ぶ

フランス語、ドイツ語、スペイン語を学ぶ。第4回トライリンガルデーが開催された。参加者は約60人。台湾の学生は初めて、筑波大学の弓道部を訪れた。この講習会では、台湾の学生に日本の弓道技術を指導した。

フランス語、ドイツ語、スペイン語を学ぶ。第4回トライリンガルデーが開催された。参加者は約60人。台湾の学生は初めて、筑波大学の弓道部を訪れた。この講習会では、台湾の学生に日本の弓道技術を指導した。

授業以外の日々の生活でも多くの刺激を受けることができています。温水が出ないこと、食卓、交通手段など、全体的に日本と異なっている。毎日新しい発見が待っている。

また、インドネシアは世界最大のイスラム大国なので、どこに行ってもイスラムに関するものがある。大学内でも、定期的に礼拝の時間を知らせる音があり、ショッピングモールには必ずモスクがある。ほかの宗教や文化を知ることも勉強と同じくらい重要なことだと思っている。残りの数日、毎日の生活をエンジョイしたい。比較文化学類2年、写真係本人提供

